

# 決定!! 第4回 ポラみみアワード

「この地域で活躍するボランティアや団体にエールを送りたい!」という想いで2015年に創設されたポラみみアワードも、今回で4回目となり、毎年恒例という言葉が板に付いてきました。今回はポラみみより情報局のボランティアスタッフによる推薦団体の中から、投票により、6団体を選出しました。多岐にわたる各団体のボランティア活動が映し出す現代の社会問題の数々。現在ボランティアをしている方も、これから新しく何かに挑戦しようかと考えている方も、少し視野を広げて、まだあなたが知らないボランティア活動に目を向けてみませんか。

## 特定非営利活動法人 日本動物介護センター

### 人と動物のより良い共存社会を目指して

現在の日本では多種多様な動物が家庭で飼われている一方で、身勝手な飼い主に捨てられたり、迷子になったりするペットが増えている。そんな動物たちの保護や里親探しをはじめ、動物愛護に関する講演会や相談会などを実施するNPO法人。2011年に発生した東日本大震災の際に保護した飼い犬たちを定期的に被災地に里帰りさせ、飼い主との再会の機会を作り、今なお復興に励んでいる被災地の人々に活力と希望を与え続けている。介助犬や災害救助犬の育成にも力を入れており、福島第一原発事故の影響で預けられた「じゃがいも」という雑種犬は訓練を受けて災害救助犬となり活躍。また、人と同じように年老いていくペット犬のための老犬ホーム「ジャパンアニマルホスピス」の運営も行い、人と動物が共に生きていける社会の実現に貢献している。



DATA 創立:2008年 ボランティア数:10名 TEL:058-264-4454  
Eメール:info@nihondoubutukaigo.com HP:http://www.nihondoubutukaigo.com

## 認定特定非営利活動法人 CAPNA

### 多様なボランティアの力で子どもを守り、助ける

1995年、親から子どもに対する虐待事件への対応が契機となり設立される。協力して事件の対応に取り組んだ弁護士と児童養護施設関係者、児童福祉司らが中心となり、日本で三番目の子ども虐待防止の民間団体として誕生、児童の安全確保を最優先に考えた活動を実施。通年で、育児不安や子どもへの虐待に悩む母親からの電話相談や子どもたちを対象としたメール相談を行うほか、母子入居シェルターの運営といった現場での援助活動を実施する。そのほかに、市民向け講座開催などの啓発活動、より効果的な虐待防止活動を行うための調査研究にも取り組んでいる。医師や弁護士などの専門家、子どもに関わる施設や機関の職員、主婦や学生など多様な立場の人々がボランティアで参加し、活動を支えている。



DATA 創立:1995年 ボランティア数:100名 TEL:052-232-2880 FAX:052-232-2882  
Eメール:approach@capna.jp HP:http://capna.jp/

## 戦争と平和の資料館 ピースあいち

### 戦争とその記憶を語り継ぎ、次世代に平和の大切さを伝える

平和を求める市民による民設民営の平和博物館で、認定NPO法人 平和のための戦争メモリアルセンター設立準備会が設立・運営している。過去の戦争資料の収集・展示、戦争体験の伝承によって記憶をつなぎ、戦争と平和について学び、交流する場を提供している。館内のガイド、独自の企画展示、継承事業など多彩な活動に取り組むのは、10代から90代のボランティア約100人。老若男女のボランティアの力が結集して、日々の運営を支える。開館10年を迎えた2017年には「戦争体験・語り継ぎ手の会」を結成。戦争体験者の高齢化により、その実体験を聞くことが難しくなる中、戦争体験を後世に伝える活動に取り組む次世代のボランティアに期待が高まる。



DATA 創立:2003年 ボランティア数:100名 TEL/FAX:052-602-4222  
Eメール:peace-nw@sirius.ocn.ne.jp HP:http://www.peace-aichi.com/

## 認定特定非営利活動法人 名古屋ろう国際センター

### 「言葉を学びたい、想いを伝えたい」そんな願いを叶えるために

韓国で手話通訳の経験がある理事長のキムさんは、来日後、日本の手話通訳の資格も取得し、ろう者のサポートを始めた。そこで、外国人ろう者が日本語を学べる場所がほとんどないということに気づき、2010年頃から活動を開始。以来、「言葉」と「聴覚障害」という二つの壁に向き合いながら、「誰かと通じ合いたい」という想いで日本語と日本手話の習得に奮闘する外国人ろう者を支え続ける。そして2017年からは、家庭の中で想いを伝え合えず、もどかしい気持ちを抱えているろう児家庭への支援も始めた。手話を使った絵本の読み聞かせの方法を学ぶ会や体験会を開催するほか、自立に向けて支援する児童発達支援・放課後等デイサービス「パレット」を開設した。ボランティアや支援者の輪を広げつつ、ろう者の思いやニーズに寄り添う支援を展開している。



DATA 創立:2010年 ボランティア数:25名 TEL:052-982-7987 FAX:052-523-1880  
Eメール:info@deaf-ic.org HP:http://deaf-ic.org/

## 特定非営利活動法人 ASTA

### 教育現場からLGBTへの理解を広める

LGBT(L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシャル、T=トランスジェンダーなどの性的少数者の総称の一つ)への理解不足が原因で起こる差別、いじめ、当事者の自己否定といった問題を改善するため、2017年5月から活動をスタート。LGBT当事者やその親との交流を通して「大切なのは性別や国籍、身体的特徴ではなく、人格や人柄であること」を伝えている。主な活動フィールドは幼稚園から大学までの教育現場。幼少期・青年期における正しい知識の教育を目指し、主に当事者と対話して理解を深める出張授業を開催している。そのほか講演会や企業研修も手がけており、教職員・保護者・会社組織への啓発も行っている。2017年8月には、LGBT支援を宣言した豊明市と協定を締結。行政との連携による、さらなる取り組みの拡大が期待されている。



DATA 創立:2017年 ボランティア数:44名  
Eメール:asta.ally@gmail.com HP:https://asta.themedia.jp/